



BLUE
ROSE
AWARD

第2回

活躍する
女性リーダー表彰

(愛称:ブルーローズ表彰)

表 彰 式

2024年3月8日(金)

大阪商工会議所

ごあいさつ



大阪商工会議所
会頭

鳥井 信吾

「第2回活躍する女性リーダー表彰（愛称：ブルーローズ表彰）」を受賞されました皆様方、誠におめでとうございます。

大阪商工会議所は、2025年大阪・関西万博に向けて、大阪がさらなる飛躍を遂げるため、2023年度からの3か年の中期計画「挑戦都市 やってみなはれ！大阪プラン」を展開しています。同中期計画において、人材分野では、若者・女性・外国人・障がい者・高齢者など、多様な人材の活躍を推進しています。

なかでも、女性の活躍を推進するには、指導者層の女性人材を増やすことが重要であるとの観点から、企業等における女性の役員・管理職登用への取り組みを促進する活動を展開しています。こうした取り組みをさらに推進するため、昨年度「活躍する女性リーダー表彰」を創設し、女性リーダーの功績を称えるとともに、女性リーダーのネットワーク構築のサポートや後進の女性のためのロールモデルとして紹介しています。

第2回目となる本表彰では、38人の素晴らしい女性リーダーの皆様が受賞されました。所属されている企業・団体の規模や分野はさまざまですが、課題や困難にも果敢に挑み、優れた業績をあげることはもとより、後進の育成や業界、地域社会の発展にも貢献されるなど、まさにリーダーにふさわしい方々ばかりでございます。皆様方のこれまでのご功績に深く敬意を表します。

本表彰の受賞者は第1回の46人とあわせて計84人となり、また、2016年度から2020年度まで実施いたしました「大阪サクヤヒメ表彰」の受賞者計227人とあわせると、合計311人となりました。

これら受賞者のなかには、業種・職種を超えて互いに交流と啓発を重ね、万博の機運醸成やSDGsへの貢献、DXの推進などに自発的に取り組むなど、その活動は年々広がりを見せており、多様な人材が活躍する都市「大阪」につながる動きであると期待しています。また、女性リーダーの皆様がはつらつとして活躍する姿は、後進の働く女性の大きな励みとなり、新たな女性リーダーの誕生を後押しするものと楽しみにしています。

結びに、本表彰にご推薦・ご応募いただきました会員企業やご関係各位に深くお礼申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

総 評

「第2回活躍する女性リーダー表彰」を受賞されました皆様方に、心からお祝い申し上げます。

第2回目となる本表彰を実施するにあたり、応募書類や選考の基準・方法等を審議するため、昨年6月23日に開催いたしました「活躍する女性リーダー表彰選定委員会（委員10人）」において、「業務上の功績は選考するうえで重要なポイントである」との意見を踏まえ、選考基準の一つ「人材育成、職場環境改善」を「人材育成、業務・職場環境改善」に改め、7月から応募の受付を開始いたしました。

受賞者の選定にあたりましては、各委員による書類審査を経て、11月29日に同表彰委員会を開催し、本表彰の選考基準であります「業績」、「人材育成、業務・職場環境改善」「社会貢献、都市魅力向上」に照らし、慎重かつ厳正に審査を重ねた結果、38人が表彰に値するとの決定に至りました。

このたび受賞されました皆様は、自社ブランドの立ち上げとネット通販により業績を回復させた方、ご自身の体験や資格を活かして児童向け教室をエリア展開されている方、大学工学部で唯一の女性教授として女性研究者支援に寄与された方、子育てと両立させながら部下育成に尽力し収益アップに貢献された方など、本表彰の受賞者としてふさわしい方々ばかりです。お一人おひとりのご実績とその実現に向けた不断の努力に、選定委員一同、深い感銘を受けるとともに、衷心より敬意を表します。

本日、このような素晴らしい皆様方を表彰させていただきますことは、選考にあたりました私どもといたしましても、この上ない喜びであります。受賞されました皆様方に改めてお祝い申し上げますとともに、女性リーダーとして今後のさらなるご活躍を期待しております。

最後に、ご推薦・ご応募いただきました会員企業はじめご関係の方々へ厚く御礼申し上げますとともに、ご関係の皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を心より祈念いたします。



大阪商工会議所
人材育成委員会委員長
活躍する女性リーダー表彰
選定委員長

長谷川 恵一



あらがみ やすこ
荒神 康子

テレビ大阪株式会社
事業局・執行役員事業局長

1991年入社。育児と両立しながら広報、営業、制作等を経て、2007年にイベント企画・運営の事業部へ異動。企画したハンドメイド作品の対面販売イベントは作家1千人超、来場者2万人超の盛況となり、新たなファン層の獲得に繋がった。12年に管理職となり、メンバーの相乗効果の発揮、全員がリーダーを担える強いチームづくりを心掛ける。22年より現職。



いしい こまき
石井 小巻

大阪公立大学
事務局次長

1992年に大阪市に入職。2001年から大阪市立大学に配属、大学法人化後は卒業生として発展に貢献したいと熱望し07年に転籍。16年から課長として大阪府立大学と大阪市立大学の統合業務を主導し、学生、卒業生、教員、行政等多岐に渡るステークホルダーとの困難な調整を円滑に行った。統合後は300名の部下とともに前例のない業務に邁進する。23年より現職。



いしかわ ゆきこ
石川 由紀子

タカラベルモント株式会社
広報室・マネージャー

銀行、広告代理店等を経て2020年に入社。創業100年を節目とした広報強化を担い、社内報のリニューアルやメディアへの露出増を果たした。コロナ禍で理美容業界が苦境にある中、業界全体の女性のエンパワーメントを目的に国際女性デーイベントを開催。毎年恒例イベントとして地域の人々や企業の賛同を得るとともに、社内のジェンダー意識の変化にもつながっている。



いとう しーりん
伊藤 曦琳

株式会社コミックエージェント
取締役

2016年に堀江アートスクールを開業、19年に法人化に伴って現職。イラスト・マンガ専門のアート教室として生徒数は常時400名以上、これまで2500名以上を個別指導してきた。その他、インバウンド向けの体験教室、大学と提携した医療従事者向けのスキルアップ講座、全国の不登校小学生向けにオンライン講座や不登校だった漫画家と対談イベント等の支援活動も行う。



いもり まき
井守 真紀

パイン株式会社
開発部 広報室室長

事務職として入社。2010年にSNSの企業アカウント立ち上げを提案。パインアメをはじめとした商品情報等を発信し、X (Twitter) は19万フォロワーを持つ人気アカウントとなった。PRや新たなファンの獲得のみならず、フォロワーの声からWEBショップを開設、企業や著名人との交流からコラボ商品を生む等、業績拡大に貢献した。当社初の女性管理職。



うえだ ゆう
植田 優

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
大阪支店総務管理部 総務課 部長代理

2005年に営業職で入社後、営業サポートに転換。顧客満足向上と営業しやすい環境を整えるため、営業での経験を活かし先読みした行動ときめ細かく的確な対応を心がけ実践。13年間、前向きで丁寧に対応することで顧客満足度を高めるとともに、各部門の垣根を越えて連携する体制を構築する等支店運営が円滑に回るよう努め、22年社内表彰を受ける。23年より現職。



うらの りみ
浦野 里美

株式会社ビューティーマイスター
代表取締役

2009年創業。自身の実体験からサロン経営ノウハウを体系化し、経済的自立を目指す女性を対象に、エステティックサロン開業のサポートしてきた。そのノウハウにより、独立開業した女性はこれまでに大多数。開業後の経営指導も行う。コロナ禍でも、顧客がサロンに来店しない危機に対し、リピート商品等を充実させる施策で乗り越えさせた。



おがわ なりこ
小川 成子

西日本電信電話株式会社 関西支店
執行役員 関西支店長

1991年に日本電信電話に入社。99年の再編成に伴い転籍。情報通信設備の構築・保守業務や他の通信事業者との相互接続に関わる業務に従事。男性社員が大半の設備系組織でキャリアを積み、女性の活躍の場を広げた。2021年より現職。社員一人ひとりの多様性をイノベーションに活かすため、社員ボトムアップ型のD&Iワーキングを発足させ、組織活性化にも貢献。



かしま きみよ
加島 公世

フラワーアンドグリーンプランニング
フラワーアンドグリーンスタイリスト

2010年に当社の外注スタッフとして契約。職業訓練校にてフラワー装飾技能を延200名に指導、合格率85%を維持。園芸高校や専門学校でも指導し、後進の育成に励む。

多数の商業施設の装飾に携わる等現場での経験を積むとともに、コンテスト参加等技術向上のためのチャレンジを続けてきた。22年より正社員。23年に大阪府優秀技能者表彰（なにわの名工）受賞。



かどおか ふみ
廉岡 文

有限会社エル ポニエンテ
エル ポニエンテ アマルール 料理長

2003年調理スタッフとして入社。スペイン・バスクの一流星店での研修など調理師として研鑽を積み、既存店発展と新店舗展開に成果を上げた。修得した調理技術をブ

ロ向けの講習会で惜しみなく伝え、後進の育成に励む。当社の女性調理師の活躍にも貢献。07年に女性は自身ひとりであったが、採用活動や働きやすい環境づくりに注力し、女性比率を30%にまで伸長させた。



きりやま ともこ
桐山 朋子

南海電気鉄道株式会社
南海商事株式会社 取締役社長

1993年入社。人事、流通現業部門を経て、育児と両立しながら2000年に大阪球場跡地再開発プロジェクトに参画、なんばパークスの開業に携わった。なんばスカイオの

開発では課長としてコンセプト構築、テナント誘致、工事監理等のノウハウをチームメンバーに教示し、プロジェクトマネジメントの専門人材を多数育成。21年南海電鉄グループ初の女性社長として現職に就任。



くりす みわ
栗栖 美和

象印マホービン株式会社
サブマネージャー

2015年入社。量販店の店舗担当営業を経て、18年に新事業開発室へ。炊飯試験で余った米飯の利用に着目し、当社初のスタートアップ企業との共創企画となった「ごは

んで作った除菌ウエットティッシュ」を商品化。第2弾としてクラフトビール「ハレと穂」を企画・商品化し、売上好調となっている。その熱意やチャレンジ精神は新たな風土づくりにも貢献している。



しみず ゆかり
清水 由加利

MSC税理士法人
税理士・CSリーダー

勤務先の経営破綻を機に税理士をめざし、当社にパートとして入社。その後、正社員に転換。育児と仕事を両立しながら2022年に税理士登録。多数の中小企業、個人の

税務に携わってきた。後輩の育成にも注力し、リーダーとして顧客と寄り添い誠実に向き合う姿勢を伝える。主婦から難関資格に挑戦し、第一線で活躍する姿は、特に女性社員がキャリアを考える上で安心感を与えている。



たつみ みなこ
巽 美奈子

有限会社異繊維工業所
取締役

菓子卸商社を経て、2015年に入社。主軸業務である靴下のOEMが低迷し、存亡の危機にあった当社にて、自社ブランド開発、インターネット販売を強化させ、7期連続

の増収増益を記録し、業績を回復させた。自社ブランドがメディアで取り上げられる機会が増え、採用活動は好転。職場環境改善や賃上げにも力を入れている。23年より現職。今後は海外市場にも目を向ける。



ともおか あいこ
友岡 愛子

日立造船株式会社
サステナビリティ推進室長

輸送機器メーカー、法科大学院を経て2011年に入社（グループ会社。後に合併）し、14年より管理職。長年、上場会社の株主総会業務や契約管理等、法務業務に従

事。専門領域を安全保障貿易管理へと広げ、輸出管理システムを構築し、適切な濃淡管理が可能な仕組みとした。21年より現職にて、サステナブルビジョンを浸透・定着させるための啓蒙活動に力を注ぐ。



ながお けいこ
長尾 啓子

株式会社COCOde
代表取締役社長

介護職の経験を活かしワンダーフレンズに入社、就労支援事業所の管理責任者となり、2年間で事業所トップの実績を作る。2022年にグループ会社として当社を立ち上げ、

現職に就任。浪速区にて23床のグループホームを開設。寄り添いをモットーに移動支援事業、相談支援事業、放課後等デイサービス事業を展開し、高齢者や障害者を地域社会に統合する手助けを行っている。

なかがわ あきこ
中川 晶子株式会社精研
設備工事本部 技術設計部 技術設計一課 課長

CADオペレータとして作図を担当した後、顧客ニーズ把握力の高さから設計業務に従事。建築設備士の資格を取得し、高度なレギュレーション知識を要する医薬品製造施設を担当。2017年に係長、22年から現職。データのクラウド化プロジェクトでもリーダーシップを発揮した。また、担当者を丁寧に指導し、作業方法を見直すよう促して工数を減らす等働き方改革に貢献。

なかくら きょうみ
中倉 京美日本生命保険相互会社
サービス業務教育部 部長

1984年に勤務地限定の業務職として入社。東京都内の支社、コールセンター、大規模店舗の店長を経験した後、エリア外の職務にチャレンジする社内制度を活用しながらキャリアを重ねた。13年に輝き推進室担当課長として男性育休100%を掲げ、初年度より達成。2022年に現職。当社で初めて業務職でライン部長となった経験を活かし、支社内勤者の人材育成にも尽力。

ながしま ともみ
永嶋 智美大阪信用金庫
コンプライアンス部 調査役

1992年入社。顧客目線の接客を意識するとともに、多様なニーズに応えるため金融資格を取得する等研鑽に励んだ。2011年に管理職となり、20年に副支店長に就任。少人数の店舗であったため、職員全員が自分の仕事のみならず相互に協力し合うことを徹底。コロナ禍では全員ミーティングの時間を設け仕事以外の事柄を相談しやすい環境づくりに尽力。23年より現職。

ながた めぐみ
永田 恵株式会社池田泉州銀行
住吉御影支店長

入社から個人ローン部に勤務。出産・育児休業を経て、ローンプラザ長として第一線で不動産業者や顧客対応にあたった。2017年に支店長に抜擢され、業績に貢献しながら職場環境改善、人材育成に尽力。パート職員含む支店全員との1on1ミーティングを毎月実施し、一人ひとりに寄り添う。他部店の女性職員のメンターも務め、ロールモデルとして活躍している。

なかはた ようこ
中畑 葉子レンゴー株式会社
国内関連事業本部管理部長代理

1996年入社。情報システム、経理、営業管理で経験を積み、2004年より国内グループ会社の業績管理、経営指導に携わる。13年に管理職に昇進。M&Aや新工場建設等の大型投資案件に主導的に参画するとともに、約160名の出向者の人事管理を行い、グループ経営の効率化に貢献する。気負わず自分らしいキャリアアップに努める姿勢は社内外の女性から頼られる存在。

はしもと みきこ
橋本 未来子マツ六株式会社
開発本部 開発企画部 参事

2002年に工業デザイナーとして入社、バリアフリー建材等の開発を担当。商品情報のデータベース化や3Dプリンタの導入の他、協力企業、医療関係者との連携強化により開発短期化と品質向上を果たした。部下を指導し、多数の特許及び意匠登録等にも寄与。20年から現職。21年に大阪府優秀技能者表彰（なにわの名工）受賞。3児を育てながら働く姿は、社内外で模範となっている。

はまの なおこ
濱野 直子株式会社ハマリカラポ
代表取締役

学生時代に高校理科教諭1種免許状取得、6年間の塾講師の経験を積む。大学院修了後、化学メーカーの研究職を経て、2015年に理科実験教室を開校。子どもが主体的に学ぶことを大切にする。21年に法人化。現在は生徒数150名、近畿エリアに3校、関東圏を中心に5校の業務提携校を持つまでに拡大。22年からは児童養護施設へのボランティア訪問も行っている。

ひらた えりこ
平田 英梨子株式会社関西みらい銀行
サステナビリティ推進室 室長

2009年入社。子育てと両立させながら営業課長として部下育成に尽力し、支店の営業力を強化。収益に大きく貢献した。有志によるプロジェクトチームにてチラシ・パンフレットを電子化し、経費削減に寄与。23年に社内最年少でサステナビリティ推進室長に昇進。地域貢献活動や金融リテラシー向上活動等を通じ、当社ブランド力強化の中心的存在を担っている。



ふくだ ちほ
福田 千秀

株式会社りそな銀行
塚口支店 支店長

入社から10年間は店頭業務全般（窓口・為替・後方業務）を担う。2度の出産・育児休業を経て、2020年に経営職に就任。支店間の交流と販売スキルの向上を目的に一定期間社員を交換する取組みやチームリーダー会議等を企画、継続実施が奏功し、統括するエリア3支店の店頭サービス部門の実績は目標比200%を達成。自身の経験から育児休業制度の拡充にも寄与。23年から現職。

一定期間社員を交換する取組みやチームリーダー会議等を企画、継続実施が奏功し、統括するエリア3支店の店頭サービス部門の実績は目標比200%を達成。自身の経験から育児休業制度の拡充にも寄与。23年から現職。



ふるた ゆい
古田 唯

株式会社キャトルプラン
西日本 人事部 課長 兼 大阪営業所 所長

2009年に営業職として入社。防犯機器の販売においてスーパーマーケットやホームセンター等の新規開拓に従事。育児休業を経て総務、経理、人事を経験し、19年より大阪営業所所長も兼務。オフィス移転、社用車廃止、カーシェア導入等で毎月のコストを約50%削減させた。適性分析による配置転換等で業務効率とエンゲージメント向上を図り、売上高は施策前の165%を記録。

2009年に営業職として入社。防犯機器の販売においてスーパーマーケットやホームセンター等の新規開拓に従事。育児休業を経て総務、経理、人事を経験し、19年より大阪営業所所長も兼務。オフィス移転、社用車廃止、カーシェア導入等で毎月のコストを約50%削減させた。適性分析による配置転換等で業務効率とエンゲージメント向上を図り、売上高は施策前の165%を記録。



へんみ のりこ
邊見 倫子

一般財団法人大阪男女いきいき財団
課長代理(相談担当)

2001年に入社。クレオ大阪にて研修・啓発事業等に従事。自身の経験を活かして07年に全国でも先駆的な育休復帰プログラムを開発。キャリアコンサルタントの資格を取得し、セミナー講師も務める。コロナ禍で自治体が事業者を公募した女性支援事業の受託にも貢献。相談業務にLINEを導入し、孤独、不安、困難を抱える女性にとって気軽に相談できる仕組みを整えた。

2001年に入社。クレオ大阪にて研修・啓発事業等に従事。自身の経験を活かして07年に全国でも先駆的な育休復帰プログラムを開発。キャリアコンサルタントの資格を取得し、セミナー講師も務める。コロナ禍で自治体が事業者を公募した女性支援事業の受託にも貢献。相談業務にLINEを導入し、孤独、不安、困難を抱える女性にとって気軽に相談できる仕組みを整えた。



みうら いずみ
三浦 泉

有限会社吉井電機
代表取締役

育児・家事のかたわらパートタイマーとして入社。2017年に父の後を継ぎ、現職に就任。債務超過で事業継続の危機にあったが、リストラ等の事業縮小で回避。受注量・売上より利益を重視する方針に転換し、展示会での営業活動、粘り強い価格交渉等の末、20年には黒字化に導く。当社は手作業によるはんだ付け等を得意とし、技術平準化のため全社員の資格取得を支援。

育児・家事のかたわらパートタイマーとして入社。2017年に父の後を継ぎ、現職に就任。債務超過で事業継続の危機にあったが、リストラ等の事業縮小で回避。受注量・売上より利益を重視する方針に転換し、展示会での営業活動、粘り強い価格交渉等の末、20年には黒字化に導く。当社は手作業によるはんだ付け等を得意とし、技術平準化のため全社員の資格取得を支援。



みき ちはる
三木 千春

株式会社大林組
本社設計本部設計ソリューション部・担当部長

1993年に入社から建築設計業務に従事し、主に集合住宅を専門としてきた。2003年1級建築士取得。18年から会社のビル移転プロジェクトに伴い総務部などを兼務し、フリーアドレス化等の新しい働き方等を推進した。他社との交流会や、様々な部門、職種、年齢のメンバーが集う勉強会を運営し、オフィスでの働き方改革やWell-beingに取り組む。

1993年に入社から建築設計業務に従事し、主に集合住宅を専門としてきた。2003年1級建築士取得。18年から会社のビル移転プロジェクトに伴い総務部などを兼務し、フリーアドレス化等の新しい働き方等を推進した。他社との交流会や、様々な部門、職種、年齢のメンバーが集う勉強会を運営し、オフィスでの働き方改革やWell-beingに取り組む。



しみず ともこ
三島 朋子

株式会社シーダ
管理部・総務課長

パートタイマーとして入社後、正社員に転換。もともと音響会社のコールセンターであった当社がスピンアウトした際に総務課長に就任し、体制を整えた。女性の社会進出推進を理念に育児や介護中の女性を多数採用。各々勤務時間が異なる中で引継ぎの漏れがないよう朝礼のビデオ化やITツールの活用を推進。スタッフへの健康診断受診の啓蒙、フェムテックの導入等も行う。

パートタイマーとして入社後、正社員に転換。もともと音響会社のコールセンターであった当社がスピンアウトした際に総務課長に就任し、体制を整えた。女性の社会進出推進を理念に育児や介護中の女性を多数採用。各々勤務時間が異なる中で引継ぎの漏れがないよう朝礼のビデオ化やITツールの活用を推進。スタッフへの健康診断受診の啓蒙、フェムテックの導入等も行う。



みとり せいこ
見取 聖子

株式会社マイスター・ギルド
執行役員

開発会社のエンジニアを経て、2017年、前年に再立ち上げたばかりの当社に入社。開発業務の傍ら、事業拡大のため管理部門の立上げ、営業事務、経理、労務等を仕組

開発会社のエンジニアを経て、2017年、前年に再立ち上げたばかりの当社に入社。開発業務の傍ら、事業拡大のため管理部門の立上げ、営業事務、経理、労務等を仕組



みね さなえ
三根 早苗

有限会社パワーエンハンスメント
取締役

女性起業家が情報交換や協業のきっかけとなる場をつくるため、2004年に女性経営者コミュニティわくらくを立ち上げた。勉強会や交流会の開催、地元企業とのビジネス

女性起業家が情報交換や協業のきっかけとなる場をつくるため、2004年に女性経営者コミュニティわくらくを立ち上げた。勉強会や交流会の開催、地元企業とのビジネス

もりざわ かずこ
森澤 和子大阪公立大学
教授・学長補佐・女性研究者支援センター長

女性が少ない工学分野で活躍し、2015年より大阪府立大学工学研究科で教授として大学運営に関わる。設立当初から女性研究者支援センター運営委員、16年から同センター長。19年から学長補佐の傍ら、女性研究者の支援事業を引き続き推進し、未来の研究者・技術者を育成する理系女子大学院生チームIRISの活動に尽力。女性研究者の増加に大きく貢献してきた。

やまおか ゆき
山岡 由季大阪シティ信用金庫
道明寺支店 支店長

1990年に入庫。一旦退職し、パートとして再度入庫後、2007年に正社員。預金、預かり資産、融資と幅広く能力を発揮して支店の業績伸展に貢献し、21年に支店長に就任。経営課題を答申する諮問委員会委員長を務め、ワークライフバランス推進をテーマとして女性や若手の育成に関わる提言を行う等、仕事と家庭を両立する女性職員の目標となる存在として活躍している。

やまぐち めぐみ
山口 潤株式会社第一住建ホールディングス
常務取締役

アパレル会社等を経て1997年に入社。秘書として活躍し17年から現職。健康経営に精力的に取り組み、健康経営優良法人の認定を受ける。喫煙率低下を目的に産業医による禁煙指導等を実施。また、長時間残業になりがちな不動産業界において閑散期の定時退社を目指し、23年に残業を原則認めない社内ルールへと変更。健康経営を実践しつつ、新規事業開発や売上の拡大に繋げる。

やまだ ゆか
山田 有香株式会社大林組
大阪本店建築事業部営業部・副部長

1988年に入社。97年1級建築士取得。見積部を経て営業部に異動し、情報収集・提案・契約管理などプロジェクトのマネジメント業務に従事し、志摩観光ホテル、ウェスティン都ホテル京都、JRA 京都競馬場、JRA 阪神競馬場等を担当した。業界柄女性が少ない部署があるため気軽に相談等できるよう20年に女性の社内ネットワークNOONを立ち上げ、幹事として活動している。

やぎ あき
弓削 亜紀有限責任あずさ監査法人
大阪第2統轄事業部第1事業部長 パートナー

1997年入社。2001年公認会計士登録。育児休業から復職後、時短勤務を利用しながら、上場会社の監査チーム管理職を務めた。女性登用が殆どなかった人事担当に就任以降、労働時間管理やモチベーション向上に関わる施策を実施し、離職者数の減少を実現。23年から現職にて180名を束ねる。難易度が高い業務に次々とチャレンジする姿勢は後進に影響を与えている。

よこやま あゆみ
横山 亜由美積水ハウス株式会社
ESG経営推進本部 ダイバーシティ推進部
女性活躍推進グループリーダー

2004年熊本支店に入社。セールストップの実績を重ね、14年に女性では7番目の店長となる。メンバーの特性に応じた育成をし、全国表彰の常連店とした。女性営業職の退職が課題となる中、育成と職場環境づくりに尽力し、23年には女性比率29.6%と全国でも高水準に引き上げた。同年より現職にて大阪本社勤務。現場経験を活かし、さらなる女性活躍推進をめざす。

● 愛称「ブルーローズ表彰」について

女性リーダーがガラスの天井を打ち破ることを応援するため、3月8日の「国際女性デー」のシンボルであるバラ、なかでもかつては不可能とされたものの、日本企業が開発した世界初の青いバラにちなみ、本表彰の愛称を「ブルーローズ表彰」としました。

● ロゴマークコンセプト

濃淡の異なる青色を使用し、中心から相互に絡み合って大きく花開いているようすは、周囲を巻き込んで活躍する女性リーダーを表現しています。



**BLUE
ROSE
AWARD**

表彰式 次第

日時

2024年3月8日（金）
午後3時～

場所

大阪商工会議所
7階 国際会議ホール

次第

開会あいさつ 大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾
選定委員長による総評 大阪商工会議所 人材育成委員会委員長 長谷川 恵一
表彰楯授与
お祝いメッセージ 近畿経済産業局長、大阪府知事、大阪市長、日本商工会議所会頭
受賞者のことば 有限会社 巽繊維工業所 取締役 巽 美奈子 氏

表彰概要

● 活躍する女性リーダー表彰について

2003年に政府は2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%にする目標を掲げましたが未達成となりました。2020年に取りまとめられた「第5次男女共同参画基本計画」では、新たな数値目標（2020年代の早期に30%程度）が設定され、大阪商工会議所も同目標の達成を後押しするため、女性のキャリアアップや働きやすい環境整備を支援するためのセミナーや交流会等を実施しております。

本表彰は、企業における女性の役員・管理職登用への取り組みを促進するとともに、ロールモデルの紹介や女性リーダーのネットワーク構築を支援します。

● 表彰の種類

ブルーローズ賞

● 表彰対象

下記①～③のいずれかに該当し、今後さらなる活躍が期待され、後進のロールモデルとなる方。応募は1社2名まで。

- ①大阪商工会議所法人・団体会員に属する女性役員（取締役・執行役員等）、管理職、管理職に相当する高度な専門職の方
- ②大阪商工会議所個人会員である女性個人事業者
- ③大阪に活動拠点をもち社会貢献・都市魅力向上に携わる女性

● 選定方法

「活躍する女性リーダー表彰 選定委員会」にて応募書類に基づき審査を行う。

大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8
TEL 06-6944-6499
HP <https://www.osaka.cci.or.jp/bluerose/>



本冊子に記載している情報は
2024年2月現在のものです。